

蒲郡クラシックホテル 六角堂

六角形の六角堂は、その2年前に開業した蒲郡ホテルの別館として1936年に建てられた。

木造平屋建てのこの建物は当初、近くの茶室「鶯宿亭」の茶会に参加する客の待合室や土産物屋として使われていた。

六角堂は仏堂をイメージして設計され、瑠璃瓦で覆われた豪華な屋根を持つ。屋根は緩やかなカーブを描く三角形で構成され、願い事を叶える宝珠をかたどった装飾が屋根の頂点にある。松葉をかたどったシンボルマークは、屋根の基部、一部の装飾瓦、建物の釘隠にあしらわれている。このシンボルマークは、1982年までホテルの敷地内にあった歴史ある旅館「常磐館」のロゴマークだった。

六角堂は1987年に改装され、鉄板の前に半円形のカウンター席を設けたステーキハウスとして再オープンした。建物はホテルのメインゲートと正面玄関の間の道路に面している。国の登録有形文化財である。